

## 平成22年度共同研究の概要(成果報告書抜粋)

研究種別: 一般研究

研究代表者: 松島 大 (千葉工業大学 工学部建築都市環境学科・准教授)

研究協力者: 黒崎泰典 (鳥取大学乾燥地研究センター 研究員)

研究題目(和文):

モンゴルにおける風食臨界風速空間分布の経年変化

研究概要(和文):

モンゴル国・バヤンウンジュールにおける 2008 年の現地観測データに用い、熱慣性及び植生指数と臨界風速の関係に基づいて、臨界風速を熱慣性及び植生指数の2変数関数としてパラメータ化する予定であった。しかし、現地観測データが不首尾のため必要なデータを取得できなかった。このため、このパラメタリゼーション開発、及びこれを用いた臨界風速の広域経年変化推定については、23 年度に持ち越すこととした。

本年度は、21 年度の共同利用研究で見出された、裸地面に対する熱慣性－臨界風速関係の実験式を用い、2008 年春季におけるバヤンウンジュールを含むモンゴル国中央部の草原(北緯 45-48 度, 東経 102-110 度)を対象に、臨界風速の広域分布を推定し、定常地上気象観測の風速・大気塵象データなどと比較した。その結果、推定された臨界風速を越えた場合に、約 3 分の 2 の確率で砂塵嵐等の大気塵象が生じていることが確認された。